

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|--|--|--|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 3 | 職員が実践や研修で積み上げている認知症に対する理解や支援の方法を、ホームの近隣住民にむけて発信する機会が少なかった。 | 地域との関わりのある認知しょう研修会を、次回外部評価受審までに1回以上実施する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・近隣地域の住民や民生委員、行政機関を対象に行う。 ・運営推進会議、市職員へも報告し協力を得る。 ・開催の広報を行う。 ・実施場所は地区公民館を使用する。 | 6ヶ月 |
| 2 | 19 | ご家族等に対する情報発信する機会が少なかった。 | ホームの情報を発信できる「たより」を、次回外部評価受審までに1回以上発行する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・職員全員が協働し役割を持って取り組む。 ・行事予定、会議日程等の広報。 | 12ヶ月 |
| 3 | 1 | 法人の理念、倫理規定について、職員理解とさらなる実践に向けての取組みの継続。 | 事業所のテーマ”にっこり・ほっこり・ゆったり”をを利用者に感じていただける日常生活の支援の推進。また、利用者の居場所や雰囲気作り配慮し安心して生活していただく。 | <ul style="list-style-type: none"> ・利用者様一人一人を尊重し耳を傾ける。 ・利用者の希望や意思を表出しやすい雰囲気作り。 ・支援、介護が一方的になっていないか利用者の立場になって考え寄り添う。 | 12ヶ月 |
| 4 | 35 | 災害時訓練の際の、地域との協力体制作りの推進。 | 関係団体との関わりを持つ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・定期訓練の際に見学していただけるよう計画する。 ・職員の体制や訓練概要について知っていただく。 ・地域への貸し出し可能な備品の紹介。 | 12ヶ月 |
| 5 | — | — | — | — | ヶ月 |

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。